

慶應義塾幼稚舎創立 150 周年記念事業 募金募集要項

募 金 目 的：慶應義塾幼稚舎創立 150 周年記念事業資金として

募 金 目 標 額：10 億円

募 金 対 象：個人（卒業生等）、法人、団体

※2010 年度より在舎生保護者の皆様より寄付を頂戴してまいりましたが、

この度卒業生を中心に寄付対象を拡大することいたしました。

※公職選挙法等の法令により寄付が禁止されている方や、未成年の方は募集の対象になりません。

募 金 期 間：2022 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

募 金 額：個人 一口 1 万円 一口以上

法人・団体 一口の金額は定めておりません。

申 込 方 法：■個人の方

クレジットカードによるオンライン決済をご利用いただけます。

右の QR コードまたは幼稚舎創立 150 周年記念事業 Web サイトからお申し込みください。

※クレジットカード以外の方法をご希望の方は、書類をお送りしますので 幼稚舎事務室までご請求ください。

募金申込



■法人・団体の方

お手数ですが慶應義塾基金室までご連絡ください。

※法人・団体の方はクレジットカードによるオンライン決済を受け付けておりません。

顕 彰：ご希望により慶應義塾発行の機関誌『三田評論』へご芳名と寄付金額を掲載いたします。

また 50 万円以上の寄付者におかれましては、施設の一部にご芳名を顕彰いたします。

免 税 措 置：慶應義塾に対するご寄付は、特定公益増進法人への寄付として、所得税法（個人の場合）や

法人税法（法人の場合）上の優遇措置（寄付金控除または損金算入）を受けることができます。

詳細は基金室 Web サイト「税制上の優遇措置（寄付金控除など）のご案内」をご覧ください。

※慶應義塾に子女が在籍されている方につきましては、慶應義塾の一貫教育校、

大学に入学した年の年末（12 月末）までの寄付金は「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、

寄付金控除の対象から除外されますのでご注意ください。

免税措置



<事業・募金に関するお問い合わせ>

慶應義塾幼稚舎

〒150-0013 渋谷区恵比寿 2-35-1

Tel 03(3441)7221（平日 9:00～15:00）

E-mail：donation@yochisha.keio.ac.jp

http://www.yochisha.keio.ac.jp

幼稚舎



<法人・団体の寄付申し込みに関するお問い合わせ>

慶應義塾基金室

〒108-8345 港区三田 2-15-45

Tel 03 (5427)1898（平日 9:00～17:00）

E-mail：kikin-box@adst.keio.ac.jp

https://kikin.keio.ac.jp

基金室



慶應義塾幼稚舎 150 周年



KEIO

YOGHISHA

150 周年



慶應義塾幼稚舎

創立150周年記念事業へのご寄付のお願い

慶應義塾幼稚舎
舎長 杉浦重成

謹啓 向暑の候、皆様におかれましてはご清祥にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、慶應義塾幼稚舎は2024(令和6)年に創立150周年を迎えます。この機会に幼稚舎の教育が未来に向けてさらに充実、発展していくよう、創立150周年記念事業を計画いたしました。

在籍する幼稚舎生や今後入学する幼稚舎生が、全社会の先導者として活躍するであろう20年先や30年先、延いては50年先の社会に思いを巡らせ、これまでの歴史や伝統を礎として、幼稚舎生が「いつも愉快によく学び、いつも元気によく遊ぶ」環境を新たな着眼点をもって整えていく必要があります。幼稚舎生の学校生活をより安全に、より豊かにするには、教育方針に副った施設の建設と学びの手立てを拡充していくことは必要不可欠であります。慶應義塾から日本、そして世界へと羽ばたき、それぞれの人生を「強く雄々しく」「遠く遥けく」「高く新たに」と謳歌できるよう、大きな期待をもって優れた人材を送り出すことは、幼稚舎の使命であると感じております。

このたびの創立150周年記念事業においては、現在を把握した上で未来を見通し、未来の幼稚舎が何を目指し、何を実現するべきかを十分に検討し、計画を実現してまいりたいと考えております。

以下の1～3を創立150周年記念事業の中心として計画しております。

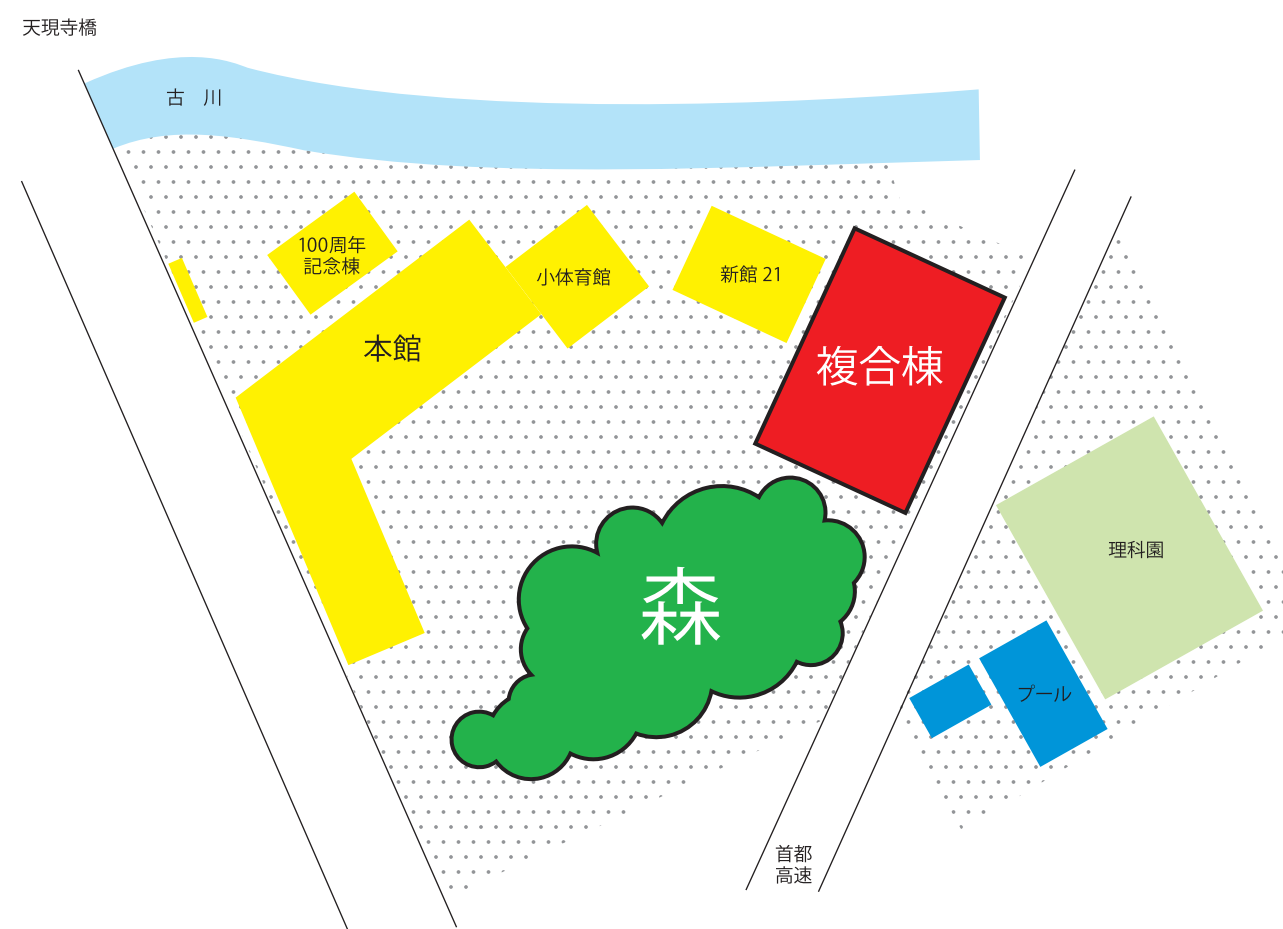
- 1. 森の復活 2. 複合棟の建設 3. 本館の再整備

「1. 森の復活」とは、自尊館を取り壊した跡地に、1966(昭和41)年までその地にあった「森(雑木林)」を復活させ、幼稚舎生が自ら考え、学び、遊ぶ空間を再生するというものです。「2. 複合棟の建設」とは、老朽化が問題となっている新体育館を取り壊し、その跡地に自尊館の機能と体育館の機能を兼ね備えた複合棟を建設するという計画です。幼稚舎の諸施設は1937(昭和12)年に本館の竣工以来、自尊館や100周年記念棟、新体育館、屋外プール、舎内の自然環境整備、新館21と整ってまいりました。これらは全て、幼稚舎教育にご理解を寄せていただいた保護者や卒業生、法人各位はもとより、広く社会一般の篤志家のご芳志によって助けられ、実現した経緯があります。

つきましては、大変に厳しい社会情勢の折に甚だ恐縮ではございますが、創立150周年記念事業に皆様からのご協力やご寄付を賜りたく切にお願いを申し上げます。

謹白

森および複合棟の整備計画図



複合棟
ホール：収容人数 1000人程度
体育館：広さ バスケットボール3面程度
設計：谷口建築設計研究所